

- 開館30周年記念特別展「国絵図の世界」関連シンポジウム……
国絵図の世界 - 甞る正保伊予国絵図 -
日 時:10月27日(日) 13:00~15:40
講 師:上杉 和央氏(京都府立大学准教授)
竹上 幸宏氏(修理工房辛匠 常務取締役)
井上 淳(当館学芸課長)
会 場:多目的ホール
- 開館30周年記念特別展「国絵図の世界」関連講座……
伊予国絵図を読み解く
日 時:10月20日(日) 13:30~15:00
講 師:井上 淳(当館学芸課長)
会 場:研修室1・2
- 国絵図を楽しむ
日 時:11月2日(土) 13:30~15:00
講 師:柚山 俊夫氏(伊予史談会副会長)
会 場:研修室1・2
- 国絵図はいかにしてつくられたのか
日 時:11月17日(日) 13:30~15:00
講 師:佐藤 賢一氏(電気通信大学教授)
会 場:研修室1・2
- 特別展「宇和海のくらしと景観」関連ミニシンポジウム……
南予の柑橘農業の歴史と文化
日 時:3月9日(日) 13:30~15:00
講 師:宮本 春樹氏(予土歴史文化研究会)
大本 敬久氏(愛媛大学特定准教授)
愛媛県農政課職員
会 場:多目的ホール
- 特別展「宇和海のくらしと景観」関連講座……
安政南海地震による宇和海沿岸部の津波被害
日 時:3月15日(土) 13:30~15:00
講 師:井上 淳(当館学芸課長)
会 場:研修室1・2
- 源氏物語講座……
紫式部への公任の呼びかけ - 敦成親王誕生五十日の華やかな祝いの宴 -
日 時:11月23日(土) 13:30~15:00
講 師:伊井 春樹(当館名誉館長)
会 場:研修室1・2
- 紫式部の清少納言評 - 『紫式部日記』における女房たちの評判記録 -
日 時:3月22日(土) 13:30~15:00
講 師:伊井 春樹(当館名誉館長)
会 場:研修室1・2
- 歴史講座……
テーマ展関連講座「一条氏と南予の城郭」
日 時:1月12日(日) 13:30~15:00
講 師:松田 直則氏(高知県立歴史民俗資料館)
会 場:多目的ホール

- 古文書講座……
能島村上家の家譜を読む①
日 時:2月1日(土) 13:30~15:00
講 師:松花 菜摘氏(村上海賊ミュージアム)
会 場:研修室1・2
- 能島村上家の家譜を読む②
日 時:3月8日(土) 13:30~15:00
講 師:松花 菜摘氏(村上海賊ミュージアム)
会 場:研修室1・2
- 考古講座……
テーマ展関連講座「松山外環状道路空港線に伴う遺跡の調査成果」
日 時:12月1日(日) 13:30~15:00
講 師:三好 裕之氏((公財)愛媛県埋蔵文化財センター)
会 場:研修室1・2
- テーマ展関連講座「テーマ展の見どころ」
日 時:1月18日(土) 13:30~15:00
講 師:富田 尚夫(当館学芸員)
会 場:研修室1・2
- 民俗講座……
テーマ展関連講座
「愛媛の祭り・行事 - 四国中央市・内子町・松野町の事例から -」
日 時:12月7日(土) 13:30~15:00
講 師:石川 桂氏(晴雨館)
亀澤 一平氏(松野町教育委員会)
新田 佐由里氏(内子町教育委員会)
会 場:多目的ホール
- 体験講座……
テーマ展関連講座
史跡めぐり「土佐一条氏ゆかりの中村を訪ねる」 **バスツアー**
日 時:12月22日(日) 8:30~17:30(予定)
講 師:松田 直則氏(高知県立歴史民俗資料館)
参加費:6,000~7,000円程度(予定)
【締切】11月22日(金)
- 史跡めぐり「松山市道後地区の史跡・建築」 **バスツアー**
日 時:2月15日(土) 8:00~16:00(予定)
講 師:林 悠太郎氏(愛媛県教育委員会)
参加費:5,000~6,000円程度(予定)
【締切】1月17日(金)

受講時のお願い▶ 講座の写真撮影、録画・録音はご遠慮ください。
 申込方法▶ 当館HPの講座申込フォーム・お電話からお申し込みください。
 お問い合わせ▶ 企画普及グループ・歴史文化講座係
 TEL(0894) 62-6222 FAX(0894) 62-6161

展示スケジュール

2024.10 - 2025.3

2024
10
特別展
「開館30周年記念 国絵図の世界」
10月19日(土)~11月24日(日)
▶開館記念日イベント 11月9日(土)・10日(日)

2025
1
▶新春イベント2025
2025年1月2日(木)・3日(金)・4日(土)・5日(日)

2
特別展
「宇和海のくらしと景観」
2025年2月15日(土)~4月6日(日)

3

常設展
えひめの歴史と文化
新常設展
密・空と海 - 内海清美展

ご利用案内

- 開館時間 9:00~17:30(入館は17:00まで)
 - 休館日 月曜日(下記カレンダーをご参照ください)
 - 観覧料
- | | 区分 | 一般 | 団体(2割引) |
|--------------|-----------|------|---------|
| 常設展・
テーマ展 | 大人(高校生以上) | 540円 | 440円 |
| | 小・中学生 | 無料 | 無料 |
| | 65歳以上 | 280円 | 230円 |
| 新常設展 | | 観覧無料 | |
- ※特別展の観覧料はその都度定めます。 ※団体は20名以上です。
 ※未就学児は無料です。
 ※テーマ展をご覧いただくには、常設展示観覧料が必要です。

Museum Calendar 2024.10-12

10月							11月							12月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5		1	2						1	2	3	4	5	6	7
6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9	8	9	10	11	12	13	14
13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16	15	16	17	18	19	20	21
20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23	22	23	24	25	26	27	28
27	28	29	30	31			24	25	26	27	28	29	30	29	30	31				

■ 休館日 ■ イベント

あそびと学びをねら

愛媛県歴史文化博物館
MUSEUM of EHIME HISTORY and CULTURE

管理運営:指定管理者 いよてつ総合企画
〒797-8511 愛媛県西予市宇和町卯之町4-11-2 電話:0894-62-6222
【ホームページ】 <http://www.i-rekihaku.jp>
●発行日 令和6年8月31日 ●編集/発行 愛媛県歴史文化博物館

歴博だより

Museum of EHIME History and Culture News

開館30周年記念

国絵図の世界

甞る正保伊予国絵図

2024年
10月19日(土)~11月24日(日)
 9:00~17:30 (入館は17:00まで)

特別展
観覧券

大人(高校生以上): 600円(480円)
 65歳以上: 300円(250円)
 小・中学生: 300円(250円)

※()は20名以上の団体料金。
 ※他にお得な常設・特別展共通観覧券もあります。
 ※開館記念日の11月9日(土)、10日(日)は観覧無料

歴史

三輪田綱一郎通行手形

年代：慶応4(1868)年
法量：縦29.2cm×横41.4cm
所蔵：当館蔵

今回は、三輪田元綱家文書から尊王攘夷運動の高まりの中で倒幕運動に転換する画期となった、足利三代木像梟首事件きようしゆに関する資料を紹介します。

元綱(綱一郎)は松山藩領南久米村(現松山市)の日尾八幡神社宮司三輪田清敏の三男で、田内董史たんだふみと国学者の大国隆正、平田鏡胤等に学びました。そして、文久3(1863)年2月22日、元綱は、平田派国学の門人達とともに等持院にある足利將軍三代の木像の首を奪って三条河原にさらすという事件を引き起こしました。



事件後、元綱は禁固を受けて豊岡藩に預けられていたところ、王政復古により京都参与役所から赦免が言い渡されます。そこで、慶応4(1868)年正月、豊岡藩士高階八右衛門他1名から各地の番所に対して、元綱が故郷の松山に帰るまで、滞りなく通すように出された通行手形が本資料になります。

豊岡藩は元綱を好意的に扱い、学事教授を委嘱していました。兄米山が記した日記によると、帰郷の際、元綱は駕籠に乗せられ、数百人の豊岡藩士が警護をしていたことや、松山の生家に着いた時には、町から多くの人々が出て来たことが記されています。苦難の末、元綱は郷里に錦を飾ったのです。(主任学芸員 安永 純子)

※歴史展示室4コーナー展「三輪田元綱家文書-足利三代木像梟首事件と贈位を中心して-」(令和6年9月27日～令和6年12月26日)で展示します。

民俗

亥の子石

法量：直径15.5cm 高さ12.0cm
使用地：宇和島市
所蔵：当館蔵

亥の子とは旧暦10月の初亥の日(一番亥の子と呼ばれます)に行われる行事です。西日本、なかでも愛媛県では今なお盛んに行われている年中行事です。県内では、子どもたちが藁わらの棒を手に地面を叩く亥の子と、石で地面を打ち突ける亥の子の二種類があります。

本資料は後者の亥の子で使用された亥の子石です。丸い石のくびれ部分に鉄の輪がはまっており、その輪にさらに小さな輪が複数ついています。小さな輪に縄を結び、縄の端を子どもが握ります。子どもたちは、亥の子歌を歌いながらタイミングを合わせて、縄を取りつけた亥の子石を地面に打ち突け、家内安全や五穀豊穰を祈願し、集落内の家々を回ります。亥の子歌は地域によって異なりますが、数え歌風のもので、本資料の使用地は宇和島市ですが、例えば松山市北条地区では「お亥の子さんのみようには、一に俵を踏んまえて、二でにっこり笑うて、三で



※「亥の子石」はテーマ展「愛媛の祭りと年中行事」で展示します。

酒を造って、四つ世の中良いように、五ついつもの如くに、六つ無病息災に、七つ何事ないように、八つ屋敷を広げて、九つ小倉を建て並べ、十でとんとおさまった、もうよかる」と歌いながら、家の庭先で亥の子石を突き、終わると家人からご祝儀が渡されます。家によっては亥の子石にお酒をかけてくれることもあり、その時は「お亥の子さんが酔った、酔うた…もうよかる」と再び突きます。

令和6年の亥の日は11月7日です。皆さんの地域で傳承されている亥の子はいかがでしょうか？ (専門学芸員 松井 寿)

テーマ展 松山外環状道路空港線開通記念

松山外環状道路と遺跡の調査

—松山平野西部の遺跡—

2024年 10月19日(土)～2025年 3月23日(日)

●場所：考古展示室 ●観覧料：常設展観覧料

本年2月24日に余戸南ICから東垣生ICまでの間が開通した松山外環状道路空港線の建設にあたっては、2013年から2018年にかけて、遺跡(埋蔵文化財)の発掘調査が行われました。その結果、これまで遺跡の空白地帯であった松山平野西部の沖積低地において、弥生時代、古墳時代、中世の集落遺跡、水田跡などが新たに確認されました。本展では、愛媛県埋蔵文化財調査センターと松山市埋蔵文化財調査センターによる発掘調査成果を基に、当地域の新発見の遺跡・遺物を紹介します。この地域に暮らした人々の足跡を感じていただければ幸いです。



外環状道路周辺、松山市、クリエイティブ・コモンズ・ライセンス 表示 4.0 (http://creativecommons.org/licenses/by/4.0/)

テーマ展 愛媛の祭りと年中行事

2024年 10月19日(土)～2025年 1月26日(日)

●場 所：文書展示室・民俗展示室1・民俗展示室2
●観覧料：常設展観覧料

関連イベント

「愛媛の祭り・行事～四国中央市・内子町・松野町の事例から～」
令和6年12月7日(土) 13:30～15:00
講師：石川桂氏(晩雨館)・新田佐由里氏(内子町教育委員会)
亀澤一平氏(松野町教育委員会)
ギャラリートーク「写真でトーク 愛媛の祭りと年中行事」
令和7年1月4日(土) 13:30～14:30 講師：松井寿(当館学芸員)
※ギャラリートークは常設展観覧券が必要です。

愛媛県には、地域ごとに特色のある伝統的な祭り・年中行事が広く傳承されています。「うちの祭りが一番!」「うちの行事は普通よ」と語る、地元の皆さんは笑顔です。祭りや行事は、地域の生活文化の核であり、また、地域住民を結集する大切な役割を果たしてきました。しかし、今日の急激な社会的環境の変化によって、継続が困難となっているものも多々あります。そこで愛媛県では令和3～5年度にかけ、県内の祭り・行事の現状を把握し記録する「愛媛県祭り・行事調査」を実施しました。当館学芸員も調査員として参加し、実態の記録とともに歴史的背景や特徴の調査を行い、令和5年度末に報告書が刊行されました。

本展では、報告書の詳細調査の対象となった祭り・行事を中心に、過去の記録写真と現在の写真とともにご紹介します。「うちの」祭り、「よその」行事、多彩な祭り・行事の価値を再認識する機会とし、地域の歴史や風土等で培われた民俗文化財の継承や地域づくりになれば幸いです。



実盛送り 西予市城川町 令和4年度 当館撮影

友の会よりお知らせ

10月1日より友の会に入会いただく場合は、会費が半額になります。18歳以上の個人会員なら3000円→1500円です。会員の資格は、会費を納入した日から、その年度の3月31日までです。10月1日以降に開催される友の会主催の会員限定の行事にもご参加いただけます。特典として、常設展・特別展への入場が無料。その他、ワークショップは材料費が割引となります。博物館「刊行物」も割引価格で購入できます。ぜひこの機会にご入会ください。お問い合わせ：友の会事務局 TEL0894-62-6222



開館記念日のご案内

11月9日(土)・10日(日)

に開館記念日イベントを開催します。今年で開館30年! 11月9日・10日は常設展・特別展が無料でご観覧いただけます。また昨年に引き続き「どんぐりマルシェ」を開催します。マルシェでは、南予地方の特産品や食品、手作りのかわいいアクセサリーや小物があつまります。その他のイベントも開催予定。皆さんぜひ博物館へお越しください!



れきはくのアシあと



1つ目は「史跡めぐり」です。現地集合形式と歴博に集合してバスでフィールドに行くバスツアー形式があり、史跡や寺社、町並みなどを歩きます。上半期は、宇和島市津島町岩松の「重要伝統的建造物群保存地区」や卯之町の町並みを歩きました。歴博の学芸員や関係者の方の解説付きのため、遠方の方ももちろん参加されますが、その地域で普段生活している方の参加も多くなっています。



2つ目はものづくりなどの体験講座です。県内で工房やお店、教室をされている方を講師にお呼びし、伝統工芸品づくりや多肉植物の寄せ植えなど様々な体験ができる講座を開催してきました。8月では、アート体験の講座を実施しました。9月もまだいくつかの体験講座を予定しております。また、今号の4ページ目に下期のれきはく歴史文化講座の一覧を掲載しております。体験講座だけでなく、様々なジャンルの講座を予定しておりますので、ご興味のある方はぜひお申し込みください。

